

ミクロブタニル (案)

今般の残留基準の検討については、食品中の農薬等のポジティブリスト制度導入時に新たに設定された基準値（いわゆる暫定基準）の見直しについて食品安全委員会において食品健康影響評価がなされたことを踏まえ、農薬・動物用医薬品部会において審議を行い、以下の報告を取りまとめるものである。

1. 概要

(1) 品目名：ミクロブタニル [Myclobutanil (ISO)]

(2) 用途：殺菌剤

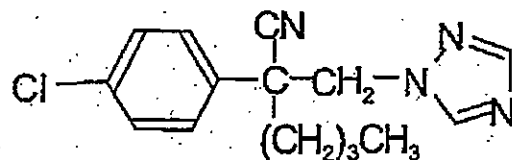
トリアゾール系殺菌剤である。菌類の細胞膜を構成する主要成分であるエルゴステロールの生合成を阻害することにより菌類の生育を阻害すると考えられている。

(3) 化学名：

2-*p*-chlorophenyl-2-(1*H*-1,2,4-triazol-1-ylmethyl)hexanenitrile (IUPAC)

α -butyl- α -(4-chlorophenyl)-1*H*-1,2,4-triazole-1-propanenitrile (CAS)

(4) 構造式及び物性



分子式 $C_{15}H_{17}ClN_4$

分子量 288.78

水溶解度 142 mg/L (22°C)

分配係数 $\log_{10}Pow=1.98$ (22°C)

(メーカー提出資料より)

2. 適用の範囲及び使用方法

本剤の適用の範囲及び使用方法は以下のとおり。

(1) 国内での使用方法

①10%ミクロブタニル水和剤

作物名	適用病害虫名	希釈倍数(倍)	10a当り使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	シロブタニルを含む農薬の総使用回数													
いちじく	さび病	2000	200~700L	収穫前日まで	4回以内	散布	4回以内													
もも	灰星病			収穫3日前まで	3回以内		4回以内	3回以内												
おうとう				収穫14日前まで																
なし	黒星病 赤星病	2000~3000		3回以内					4回以内	3回以内										
りんご	黒星病 赤星病 うどんこ病 斑点落葉病	3000																		
	かき	うどんこ病			2000						収穫7日前まで	5回以内	5回以内							
ねぎ らっきょう わけぎ	さび病	2000		3回以内							4回以内	3回以内								
あさつき													収穫14日前まで							
なす	すすかび病 うどんこ病	4000~6000		150~300L	収穫前日まで								3回以内	4回以内						
ピーマン とうがらし類	うどんこ病 斑点病	6000~8000													3回以内	5回以内	3回以内			
メロン	うどんこ病		4000~8000			3回以内												5回以内	3回以内	
いちご さやえんどう 実えんどう 未成熟ささげ							4000													
すいか きゅうり		4000~8000																		
かぼちゃ	さび病	2000	根株養成期 但し、 収穫90日前まで				2回以内	2回以内												
ぎぼうし									200~400L	200~400L										摘採14日前まで
茶																				

②25%マイクロブタニル乳剤

作物名	適用 病害虫名	希釈倍数 (倍)	10a 当り 使用液量	使用時期	本剤の 使用 回数	使用 方法	マイクロブタニルを 含む農薬の 総使用回数
にんにく	さび病	4000	150~300L	収穫3日前まで	3回 以内	散布	3回以内
ねぎ				収穫14日前まで			
いちご	5000	収穫前日まで					
ふき	4000	収穫7日前まで					
食用ぎく	白さび病	3000	200~300L	収穫14日前まで	2回 以内		2回以内
しそ(花穂)	さび病		150~300L	収穫21日前まで			
しそ 食用金魚草				収穫14日前まで			

③0.0025%マイクロブタニル・0.010%フェンプロパトリン液剤

作物名	適用 病害虫名	希釈 倍数	使用 時期	使用 回数	使用 方法	マイクロブタニルを 含む農薬の 総使用回数
トマト	アブラムシ類 うどんこ病	原液	収穫 前日 まで	3回 以内	散布	3回以内
きゅうり				5回 以内		5回以内
いちご	アブラムシ類 ハダニ類 うどんこ病			3回 以内		3回以内
なす	コナジラミ類 うどんこ病			4回 以内		5回以内

(2) 海外での使用方法
(米国) 40%水和剤

作物名	適用 病害虫名	使用量	使用 時期	使用 回数	使用 方法
アーモンド	花障害 点穴病 さび病 炭疽病	5~8oz/A	収穫90日前まで	3回以内 (合計1.5lb ai/A) (1回に0.6lb ai/A以内)	散布
りんご サンザシ	うどんこ病	5~10oz/A	収穫14日前まで	合計51lb/A以内	
	さび病 黒星病	5~8oz/A			
	収穫後感染症	8oz/A	収穫後96時間以内に処理		

ブラックベリー ラズベリー	茎葉さび病 赤さび病 うどんこ病 黄さび病	1.25~2.5oz/A	収穫前日まで 再散布は10~14日間隔	合計10oz/A以内	散布
フサスグリ	うどんこ病 発疹さび病	5oz/A	収穫前日まで 開花前、全開花及び全開 花2週間後	合計40oz/A以内	
グーズベリー	炭疽病		収穫前日まで 再散布する場合10~14日 間隔		
	うどんこ病 発疹さび病		収穫前日まで 開花前、全開花及び全開 花2週間後		
いちご	葉枯病 斑点病 うどんこ病	2.5~5oz/A	再散布する場合14~21日 間隔 収穫前日まで	合計30oz/A以内	
ぶどう	炭疽病 黒斑病	3~5oz/A	収穫14日前まで	合計1.5lb/A以内	
	うどんこ病		収穫21日前まで		
ペパーミント スペアミント	うどんこ病 さび病	4~5oz/A	収穫30日前まで (散布間隔14~21日)	合計15oz/A以内	
アンズ	灰星病 うどんこ病 点穴病	2.5~6oz/A	収穫前日まで	合計2.75lb/A以内	
おうとう	灰星病 うどんこ病 斑点病			合計3.25lb/A以内	
ネクタリン	灰星病 うどんこ病 点穴病				
もも	灰星病 うどんこ病 さび病				
すもも					
アスパラガス	さび病	5oz/A	収穫30日前まで	合計20oz/A以内	
うり科野菜	うどんこ病	2.5~5oz/A		合計1.5lb/A以内	
さや豆	さび病 さや枯病	4~5oz/A		合計1.25lb/A以内	
トマト	うどんこ病	2.5~4oz/A			
レタス(結球) レタス(非結 球)		5oz/A			収穫3日前まで
アーティチョ ーク		4oz/A	収穫3日前まで	合計24oz/A以内	

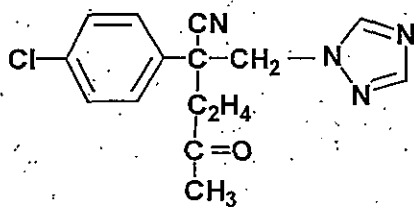
ホップ	うどんこ病	2~10oz/A	収穫14日前まで (散布間隔5~7日)	合計2.5lb/A以内	散布
綿実	腰折病 黒斑病	0.8~ 2.5oz/100lb種 子	—	—	
パパイヤ	うどんこ病	10oz/A	—	合計80oz/A以内	

3. 作物残留試験

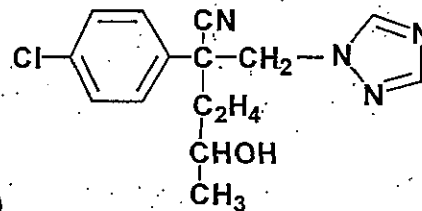
(1) 分析の概要

①分析対象の化合物

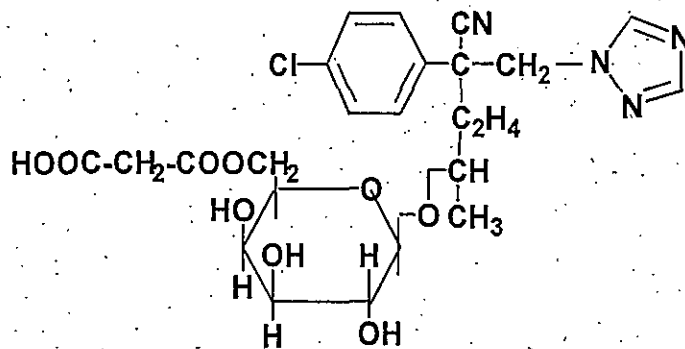
- ・ ミクロブタニル
- ・ α -(2-フタリル)- α -(4-クロロフェニル)-1H-1,2,4-トリアゾール-1-プロパニトリル (代謝物 M3)
- ・ α -(3-ヒドロキシフタリル)- α -(4-クロロフェニル)-1H-1,2,4-トリアゾール-1-プロパニトリル (代謝物 M4)
- ・ α -(1-マロニルグルコシルフタリル)- α -(4-クロロフェニル)-1H-1,2,4-トリアゾール-1-プロパニトリル (代謝物 M8)
- ・ α -(1-グルコシルフタリル)- α -(4-クロロフェニル)-1H-1,2,4-トリアゾール-1-プロパニトリル (代謝物 M9)



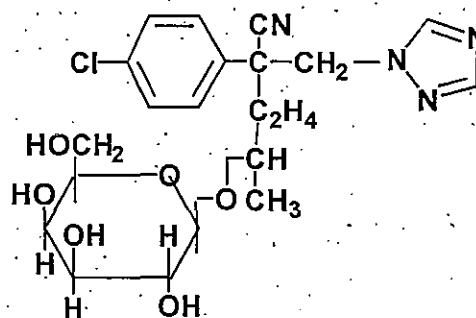
(代謝物 M3)



(代謝物 M4)



(代謝物 M8)



(代謝物 M9)

②分析法の概要

マイクロブタニル（親化合物）：

試料からアセトンで抽出し、n-ヘキサンに転溶した後、シリカゲルカラムで精製する。又は、試料からメタノールで抽出し、ジクロロメタンに転溶した後、フロリジルカラムで精製する。ガスクロマトグラフ（NPD）で定量する。

代謝物：

試料から塩酸メタノールでソックスレー抽出し、代謝物 M8 及び M9 を M4 に加水分解する。さらに、抽出液に NaBH_4 を加え、代謝物 M3 を代謝物 M4 に還元する。反応液を n-ヘキサンで洗浄した後、ジクロロメタンに転溶し、フロリジルカラム又はシリカゲルカラムで精製後、ガスクロマトグラフ（NPD）で定量する。

代謝物（M3、M4、M8 及び M9 の合計）の残留値は、マイクロブタニルに換算して記載した（換算係数 0.948）。

定量限界：マイクロブタニル 0.005～0.1 ppm
代謝物 0.01～0.1 ppm

(2) 作物残留試験

国内で実施された作物残留試験の結果の概要については、別紙 1-1、海外で実施された作物残留試験の結果の概要については、別紙 1-2 を参照。

4. 動物飼養試験（家畜残留試験）

(1) 乳牛

1 日当りの飼料摂取量（15kg）に基づき、飼料中濃度として 0、1、3、10 及び 30ppm に相当する量の ^{14}C 標識マイクロブタニルとその ^{14}C 標識代謝物 M3 及び M4 をゼラチンカプセルに入れて、10 日間経口投与した。乳については、毎日採取し、さらに 11 日に屠殺した後、組織を採取した。結果を表 1-1 及び表 1-2 に示す。

表 1-1. 乳中の最大残留放射能 (ppm)

	1 ppm	3 ppm	10 ppm	30 ppm
乳	0.008	0.02	0.065	0.17

表 1-2. 組織中の平均残留放射能 (ppm)

	1 ppm	3 ppm	10 ppm	30 ppm
筋肉	<0.02	<0.02	<0.02	0.022-0.038
脂肪	<0.02	<0.02	<0.02	0.022
腎臓	<0.02	<0.02	0.050	0.15
肝臓	0.045	0.11	0.30	0.82

(2) 鶏

1日当りの飼料摂取量に基づき、飼料中濃度として0、1、3、10及び30ppmに相当する量の¹⁴C標識ミクロブタニルとその¹⁴C標識代謝物M4及びM3の混合物(45:45:10)を、28日間経口投与した。卵については、28日間毎日採取した。28、35及び42日後に動物を屠殺し、組織を採取した。結果を表2-1及び表2-2に示す。

表2-1. 卵の最大残留放射能 (ppm)

	1 ppm	3 ppm	10 ppm	30 ppm
卵	0.005	0.013	0.034	0.129

表2-2. 組織中の平均残留放射能 (ppm)

	1 ppm	3 ppm	10 ppm	30 ppm
脂肪	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
肝臓	0.003	0.006	0.018	0.047
腎臓	<0.001	0.003	<0.001	0.021
胃	0.062	0.006	0.015	0.042
胸肉	<0.001	0.004	0.008	0.027
腿肉	<0.001	0.003	0.006	0.019

上記の結果に関連して、米国においては、肉/乳牛及び家禽における最大理論的飼料由来負荷 (MTDB^註) をそれぞれ13.5ppm及び0.074ppmと評価している。

注) 最大理論的飼料由来負荷 (Maximum Theoretical Dietary Burden: MTDB) : 飼料として用いられる全ての飼料品目に残留基準まで残留していると仮定した場合に、飼料の摂取によって畜産動物が暴露される最大量。飼料中残留濃度として表示される。

(参考: Residue Chemistry Test Guidelines OPPTS 860.1480 Meat/Milk/Poultry/Eggs)

(3) 推定残留量

畜産物中の推定残留量(最大値)を算出した結果を表3-1及び3-2に示す。

乳牛については2頭の組織中残留量の投与量比率の個体別値より、2頭の平均値と最大値の差は、1.2倍以内であることが分かっている。2頭の平均値である表1-2の残留値から算定される推定残留量を最大残留量と見なした。

表3-1. 乳牛における推定残留量 (ppm)

筋肉	脂肪	肝臓	腎臓	乳
0.023	0.020	0.39	0.068	0.083

鶏については、現行米国基準値が旧-MTDB(0.75ppm)に基づいて算定されたものであり、現行の算定によるMTDBは旧MTDBの $0.074/0.75=1/10$ となることから最大残留量は現行基準0.02ppmの1/10以下0.002ppmと推定される。

表 3-2. 鶏における推定残留量 (ppm)

筋肉	脂肪	肝臓	腎臓	胃	卵
<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.0042

5. ADI の評価

食品安全基本法（平成 15 年法律第 48 号）第 24 条第 2 項の規定に基づき、食品安全委員会あて意見を求めたミクロブタニルに係る食品健康影響評価について、以下のとおり評価されている。

無毒性量：2.49 mg/kg 体重/日（発がん性は認められない）

（動物種） ラット

（投与方法） 混餌

（試験の種類） 慢性毒性/発がん性併合試験

（期間） 2 年間

安全係数：100

ADI：0.024 mg/kg 体重/day

6. 諸外国における状況

1992 年に JMPR における毒性評価が行われ、ADI が設定されている。国際基準は、ぶどう、仁果類、いちご、トマト等に設定されている。

米国、カナダ、欧州連合 (EU)、オーストラリア及びニュージーランドについて調査した結果、米国においてりんご、ぶどう、いちご、トマト等に、カナダにおいてりんご、ぶどう等に、EUにおいてぶどう、うり類等に、オーストラリア及びニュージーランドにおいてぶどう、仁果類に基準値が設定されている。

7. 基準値案

(1) 残留の規制対象

ミクロブタニルとする。

作物残留試験においてミクロブタニル及び代謝物 (M3、M4、M8 及び M9 の総量) を分析対象とした試験が行われている。複数の作物において定量限界以上の代謝物の残留を認めるが、国際基準における規制対象はミクロブタニルのみであることを考慮し、規制対象物質としてミクロブタニルと設定した。

なお、食品安全委員会による食品健康影響評価においても、暴露評価対象物質としてミクロブタニル（親化合物のみ）を設定している。

(2) 基準値案

別紙 2 のとおりである。

(3) 暴露評価

各食品について基準値案の上限までマイクロブタニルが残留していると仮定した場合、国民栄養調査結果に基づき試算される、1日当たり摂取する農薬の量（理論最大1日摂取量（TMDI））のADIに対する比は、以下のとおりである。詳細な暴露評価は別紙3参照。

なお、本暴露評価は、各食品分類において、加工・調理による残留農薬の増減が全く無いとの仮定の下に行った。

	TMDI/ADI (%) ^{注)}
国民平均	38.6
幼小児（1～6歳）	75.9
妊婦	34.3
高齢者（65歳以上）	39.7

注) TMDI 試算は、基準値案×摂取量の総和として計算している。

- (4) 本剤については、平成17年11月29日付け厚生労働省告示第499号により、食品一般の成分規格7に食品に残留する量の限度（暫定基準）が定められているが、今般、残留基準の見直しを行うことに伴い、暫定基準は削除される。

マイクロブタニル作物残留試験一覧表

農作物	試験 回場数	試験条件				最大残留量 ^(注1) (ppm) 【マイクロブタニル/代謝物 ^(注3) 】
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	
りんご (果実)	2	10%水和剤	1000倍散布 500L/10a	3回	7, 14, 21日	圃場A: 0.14/<0.02 ^(注2)
					8, 15, 22日	圃場B: 0.10/<0.02(3回, 8日)(#)
りんご (果実)	2	10%水和剤	1000倍散布 500L/10a	5回	7, 14, 21日	圃場A: 0.15/<0.02(5回, 7日)(#)
					8, 15, 22日	圃場B: 0.14/<0.02(5回, 8日)(#)
りんご (果実)	2	10%水和剤	1000倍散布 500L/10a	3回	7, 14, 21日	圃場A: 0.09/0.01 [*] (*3回, 21日)(#)
					8, 15, 22日	圃場B: 0.01/<0.01(3回, 8日)(#)
りんご (果実)	2	10%水和剤	1000倍散布 500L/10a	5回	7, 14, 21日	圃場A: 0.12/0.01(5回, 7日)(#)
					8, 15, 22日	圃場B: 0.02/<0.01(5回, 8日)(#)
なし (果実)	2	10%水和剤	1000倍散布 400L/10a	3回	14, 21日	圃場A: 0.03/<0.02(3回, 21日)(#)
						圃場B: 0.14/<0.02(3回, 21日)(#)
なし (果実)	2	10%水和剤	1000倍散布 400L/10a	5回	14, 21日	圃場A: 0.04/<0.02(5回, 14日)(#)
					14, 21日	圃場B: 0.30/0.03(5回, 14日)(#)
なし (果実)	2	10%水和剤	1000倍散布 400, 450L/10a	3回	14, 21日	圃場A: 0.08/<0.01(#)
					15, 22日	圃場B: 0.34/0.04(3回, 22日)(#)
なし (果実)	2	10%水和剤	1000倍散布 400, 450L/10a	5回	14, 21日	圃場A: 0.14/<0.01(5回, 14日)(#)
					15, 22日	圃場B: 0.34/0.04(5回, 22日)(#)
すいか (果実)	2	10%水和剤	4000倍散布 200L/10a	5回	1, 3, 7日	圃場A: <0.01/<0.02
						圃場B: <0.01/<0.02
さやえんどう (さや)	2	10%水和剤	2000倍散布 180, 300L/10a	3回	1, 3, 7日	圃場A: 0.11/0.04(#)
						圃場B: 0.32/0.06(#)
さやえんどう (さや)	2	10%水和剤	2000倍散布 180, 300L/10a	5回	1, 3, 7日	圃場A: 0.09/0.04(5回, 1日)(#)
						圃場B: 0.47/0.09(5回, 1日)(#)
ねぎ(根深) (茎葉)	1	10%水和剤	2000倍散布 150L/10a	3回	7, 14, 21日	圃場A: 0.20/0.17
ねぎ(葉ねぎ) (茎葉)	1	10%水和剤	2000倍散布 150L/10a	3回	7, 14, 21日	圃場A: 0.137/0.11
ねぎ(根深) (茎葉)	1	10%水和剤	2000倍散布 150L/10a	3回	7, 14, 21日	圃場A: 0.18/0.09
ねぎ(葉ねぎ) (茎葉)	1	10%水和剤	2000倍散布 150L/10a	3回	7, 14, 21日	圃場A: 0.29/0.11
ねぎ(葉ねぎ) (茎葉)	2	25%乳剤	4000倍散布 150L/10a	3回	14日	圃場A: 0.14/0.22 圃場B: 0.06/0.34
ねぎ(根深) (茎葉)	2	25%乳剤	4000倍散布 150, 270L/10a	3回	14日	圃場A: 0.03/0.04 圃場B: 0.08/0.08
茶 (荒茶)	2	10%水和剤	1000倍散布 200L/10a	2回	14, 21日	圃場A: 9.28/1.83 圃場B: 5.52/1.69
茶 (浸出液)	2	10%水和剤	1000倍散布 200L/10a	2回	14, 21日	圃場A: 2.92/0.80 圃場B: 2.04/0.89
茶 (荒茶)	2	10%水和剤	1000倍散布 200L/10a	3回	14, 21日	圃場A: 16.2/2.47(3回, 14日)(#) 圃場B: 8.45/2.60(3回, 14日)(#)
茶 (浸出液)	2	10%水和剤	1000倍散布 200L/10a	3回	14, 21日	圃場A: 5.03/1.35(3回, 14日)(#) 圃場B: 3.38/1.22(3回, 14日)(#)
いちご (果実)	2	10%水和剤	4000倍散布 200L/10a	3回	1, 3, 7日	圃場A: 0.20/<0.02(3回, 3日) 圃場B: 0.15/<0.02
いちご (果実)	2	25%乳剤	5000倍散布 150, 250L/10a	3回	1, 3, 7日	圃場A: 0.11/0.02 圃場B: 0.27/<0.01
きゅうり (果実)	2	10%水和剤	2000倍散布 250, 300L/10a	3回	1, 3, 7日	圃場A: 0.176/0.03(3回, 1日)(#) 圃場B: 0.034/<0.02(3回, 1日)(#)
きゅうり (果実)	2	10%水和剤	2000倍散布 250, 300L/10a	5回	1, 3, 7日	圃場A: 0.242/0.04 [*] (*5回, 7日)(#) 圃場B: 0.104/0.05(#)
きゅうり (果実)	2	10%水和剤	4000倍散布 250, 300L/10a	3回	1, 3, 7日	圃場A: 0.108/0.03(3回, 1日) 圃場B: 0.014/<0.02(3回, 1日)
きゅうり (果実)	2	10%水和剤	4000倍散布 250, 300L/10a	5回	1, 3, 7日	圃場A: 0.097/0.02 圃場B: 0.070/0.04
もも (果肉)	2	10%水和剤	2000倍散布 500L/10a	4回	1, 3, 7日	圃場A: 0.04/0.03(4回, 3日) 圃場B: 0.20/0.09 [*] (*4回, 7日)
もも (果皮)	2	10%水和剤	2000倍散布 500L/10a	4回	1, 3, 7日	圃場A: 1.74/0.20(4回, 3日) 圃場B: 4.02/0.22(4回, 3日)

農作物	試験 圃場数	試験条件			最大残留量 ^(注1) (ppm) 【ミクロブタニル/代謝物 ^(注3) 】	
		剤型	使用量・使用方法	回数		経過日数
なす (果実)	2	10%水和剤	4000倍散布 130-220, 300L/10a	4回	1, 3, 7日	圃場A: 0.06/<0.01 圃場B: 0.04/<0.01
メロン (果実)	2	10%水和剤	6000倍散布 300L/10a	3回	1, 3, 7日	圃場A: <0.01/0.01*(*3回, 3日) 圃場B: 0.01/<0.01
おうとう (果実)	2	10%水和剤	2000倍散布 700, 500L/10a	3回	3, 7, 14日	圃場A: 0.34/0.10 圃場B: 0.35/0.13*(*3回, 7日)
かき (果実)	2	10%水和剤	1000倍散布 500, 400L/10a	5回	7, 14, 21日	圃場A: 0.18*/0.08*(*5回, 14日)(#) 圃場B: 0.26/0.08*(*5回, 14日)(#)
かき (果実)	2	10%水和剤	2000倍散布 400L/10a	5回	7, 14, 21日	圃場A: 0.06/0.01*(*5回, 14日) 圃場B: 0.05/0.01*(*5回, 21日)
ピーマン (果実)	2	10%水和剤	4000倍散布 300L/10a	4回	1, 3, 7日	圃場A: 0.09/0.02 圃場B: 0.04/0.04*(*4回, 7日)
いちじく (果実)	2	10%水和剤	2000倍散布 200L/10a	4回	1, 3, 7日	圃場A: 0.06/0.06 圃場B: 0.23/0.24
実えんどう	2	10%水和剤	2000倍散布 180, 300L/10a	3回	3日	圃場A: <0.01/<0.02(3回, 3日)(#) 圃場B: <0.02/0.02(3回, 3日)(#)
にんにく (鱗茎)	2	25%乳剤	4000倍散布 300L/10a	3回	3, 7, 14日	圃場A: <0.01/<0.01 圃場B: <0.01/<0.01
かぼちゃ (果実)	2	10%水和剤	4000倍散布 150L/10a	3回	1, 3, 7日	圃場A: <0.01/<0.01 圃場B: 0.02/<0.01
ぎぼうし (茎葉)	2	10%水和剤	2000倍散布 300L/10a	2回	90, 119, 150日 87, 120, 150日	圃場A: <0.1/<0.1 圃場B: <0.1/<0.1(2回, 87日)(#)
ふき (葉柄)	2	25%乳剤	4000倍散布 150L/10a	3回	7, 14, 21日	圃場A: 0.35 / - 圃場B: 0.375 / -
未成熟ささげ (さや)	2	10%水和剤	4000倍散布 250L/10a	3回	1, 3, 7日	圃場A: 0.32 / - 圃場B: <0.08 / -
食用ぎく (花全体)	2	25%乳剤	3000倍散布 200L/10a	2回 3回	14, 21日	圃場A: 0.48 / - 圃場B: 0.46 / - (3回, 21日)(#)
ししとう (果実)	2	10%水和剤	4000倍散布 300, 200L/10a	4回	1, 3, 7日	圃場A: 0.22 / - 圃場B: 0.25 / -
とうがらし (果実)	2	10%水和剤	4000倍散布 200L/10a	4回	1, 3, 7日	圃場A: 0.35 / - 圃場B: 0.40 / -
わけぎ (茎葉)	2	10%水和剤	2000倍散布 210, 150L/10a	3回	7, 14, 21日	圃場A: 0.13 / - 圃場B: <0.05 / -
あさつき (茎葉)	2	10%水和剤	2000倍散布 150L/10a	3回	14, 21日	圃場A: <0.05 / - 圃場B: 0.33 / -
しそ (葉)	2	25%乳剤	3000倍散布 200L/10a	2回	14, 21日	圃場A: 0.4 / - 圃場B: 0.4 / -
しそ (花穂)	2	25%乳剤	3000倍散布 200L/10a	2回	21日	圃場A: 0.16 / - 圃場B: 0.36 / -
食用金魚草 (花)	2	25%乳剤	3000倍散布 150L/10a	2回	14日	圃場A: 0.16 / - 圃場B: 0.50 / -
らっきょう (鱗茎)	2	10%水和剤	2000倍散布 300L/10a	3回	7, 14, 21日	圃場A: <0.05 / - 圃場B: <0.05 / -
トマト (果実)	2	10%水和剤	4000倍散布 300L/10a	4回	1, 3, 7日	圃場A: 0.08 / - (4回, 1日)(#) 圃場B: 0.09 / - (4回, 1日)(#)

(注1) 最大残留量：当該農薬の申請の範囲内で最も多量に用い、かつ最終使用から収穫までの期間を最短とした場合の作物残留試験(いわゆる最大使用条件下の作物残留試験)を複数の圃場で実施し、それぞれの試験から得られた残留量。(参考：平成10年8月7日付「残留農薬基準設定における暴露評価の精密化に係る意見具申」)

表中、最大使用条件下の作物残留試験条件に、アンダーラインを付しているが、経時的に測定されたデータがある場合において、収穫までの期間が最短の場合にのみ最大残留量が得られるとは限らないため、最大使用条件以外で最大残留量が得られた場合は、その使用回数及び経過日数について()内に記載した。

(注2) (#)：これらの作物残留試験は、申請の適用範囲内で試験が行われていない。なお、適用範囲内ではない試験条件を斜体で示した。

(注3)：代謝物(M3, M4, M8及びM9の合計)の最大残留値は、ミクロブタニルに換算して記載した。

換算係数はミクロブタニル/代謝物=0.948

マイクロブタニルの海外作物残留試験一覧表

米国

作物名 (試験部位)	試験 圃場数	試験条件			最大残留量(ppm) (注1)	
		剤型	使用量・使用方法	回数		経過日数
アーティ チョーク (花蕾)	3	40%水和剤	0.1 lb ai/acre 茎葉散布 (計0.60 lb ai/acre)	6回	3日	圃場A: 0.25 圃場B: 0.59 圃場C: 0.44
アスパラガ ス(新芽)	2		137.9~140.1 g ai/ha 散布	4回	31日	圃場A: <0.01 (#) (注2)
			137.9~141.2 g ai/ha 散布	4回	32日	圃場B: <0.01 (#)
ズッキーニ (果実)	1		0.10 lb ai/acre 茎葉散布 (計0.60 lb ai/acre)	6回	0日	圃場A: 0.0055
かぼちゃ (果実)	2		140.1 g ai/ha 散布 (散布量46.75L/ha)	3回	0日 3日 7日	0.075 圃場A: 0.008 0.004
			140.1 g ai/ha 散布 (散布量383.35L/ha)	3回	0日	圃場B: 0.08
未成熟 いんげん (Snap Bean)			0.125 lb ai/acre 茎葉散布 (計0.50 lb ai/acre)	4回	0日	圃場A: 0.09 圃場B: 0.38
レタス (結球)	7		0.125 lb ai/acre 茎葉散布 (計0.491 lb ai/acre)	4回	2日	0.34 圃場A: (茎葉・外葉あり) (#) 0.02 (茎葉・外葉なし) (#)
			0.125 lb ai/acre 茎葉散布 (計0.498 lb ai/acre)	4回	4日	圃場B: 0.88 (茎葉・外葉あり) 0.10 (茎葉・外葉なし)
			0.125 lb ai/acre 茎葉散布 (計0.513 lb ai/acre)	4回	4日	圃場C: 0.02 (茎葉・外葉あり) <0.01 (茎葉・外葉なし)
			0.125 lb ai/acre 茎葉散布 (計0.503 lb ai/acre)	4回	2日	1.33 圃場D: (茎葉・外葉あり) (#) 0.24 (茎葉・外葉なし) (#)
			0.125 lb ai/acre 茎葉散布 (計0.510 lb ai/acre)	4回	2日	0.54 圃場E: (茎葉・外葉あり) (#) 0.09 (茎葉・外葉なし) (#)
			0.125 lb ai/acre 茎葉散布 (計0.494 lb ai/acre)	4回	3日	圃場F: 0.38 (茎葉・外葉あり) 0.06 (茎葉・外葉なし)
			0.125 lb ai/acre 茎葉散布 (計0.501 lb ai/acre)	4回	2日	0.08 圃場G: (茎葉・外葉あり) (#) 0.01 (茎葉・外葉なし) (#)
		0.125 lb ai/acre 茎葉散布 (計0.507 lb ai/acre)	4回	2日	圃場A: 3.95 (#)	
レタス (非結球)		0.125 lb ai/acre 茎葉散布 (計0.499 lb ai/acre)	4回	0日 2日 7日 14日	圃場B: 7.40 (#) 1.69 (#) 0.72 0.29	
		0.125 lb ai/acre 茎葉散布 (計0.506 lb ai/acre)	4回	0日 2日	圃場C: 1.22 (#) 0.54 (#)	

作物名 (試験部位)	試験 圃場数	試験条件				最大残留量 (ppm)
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	
レタス (非結球)	7		0.125 lb ai/acre 茎葉散布 (計 0.506 lb ai/acre)	4回	6日 13日	圃場C: 0.22 0.10
			0.125 lb ai/acre 茎葉散布 (計 0.501 lb ai/acre)	4回	2日	圃場D: 1.88 (#)
			0.125 lb ai/acre 茎葉散布 (計 0.506 lb ai/acre)	4回	4日	圃場E: 0.20
			0.125 lb ai/acre 茎葉散布 (計 0.505 lb ai/acre)	4回	3日	圃場F: 1.52
			0.125 lb ai/acre 茎葉散布 (計 0.512 lb ai/acre)	4回	2日	圃場G: 0.23 (#)
ラズベリー (果実)	3	40%水和剤	0.5 oz ai/acre 茎葉散布	8回	0日 3日	圃場A: 0.315 0.206
			1.0 oz ai/acre 茎葉散布	8回	0日 3日 7日	0.713 圃場A: 0.419 0.151
			0.5 oz ai/acre 茎葉散布	8回	7日	圃場B: 0.072
			0.5 oz ai/acre 茎葉散布	4回	0日 4日 8日	0.07 圃場C: 0.05 0.05
			0.0625 lb ai/acre 茎葉散布 (計 0.25 lb ai/acre)	4回 4回 4回 4回 4回	0日 0日 0日 0日 0日	圃場A: 0.25 圃場B: 0.16 圃場C: 0.60 圃場D: 0.42 圃場E: 0.39
Gooseberry (果実)	2	40%水和剤	0.125 lb ai/acre 茎葉散布 (計 1.0 lb ai/acre)	8回 8回	0日 0日	圃場A: 0.32 圃場B: 0.31
Currant (果実)	1		0.125 lb ai/acre 茎葉散布 (計 1.0 lb ai/acre)	8回	0日	圃場A: 0.86
パパイヤ (果実)	4		0.25 lb ai/acre 茎葉散布 (計 2.0 lb ai/acre)	8回	0日	圃場A: 0.82
				8回	0日	圃場B: 1.13
				8回	0日	圃場C: 0.68
		8回		0日	圃場D: 0.82	
綿実 (種子)	1	¹⁴ C & ¹² C シクロアキニル	種子消毒 0.39、0.54 lb ai /100 lb 種子	1回	136日	圃場A: <0.01 (#)
アーモンド (Nut Meat)	17	60%水和剤	0.19 lb ai/acre 茎葉散布 (計 0.57 lb ai/acre)	3回	154日	圃場A: <0.001 (#)
			0.38 lb ai/acre 茎葉散布 (計 1.14 lb ai/acre)	3回	154日	圃場A: <0.001 (#)
			0.19 lb ai/acre 茎葉散布 (計 0.57 lb ai/acre)	3回	161日	圃場B: <0.001 (#)
			0.38 lb ai/acre 茎葉散布 (計 1.14 lb ai/acre)	3回	161日	圃場B: 0.0013 (#)
			0.19 lb ai/acre 茎葉散布 (計 0.57 lb ai/acre)	3回	160日	圃場C: 0.0036 (#)

作物名 (試験部位)	試験 圃場数	試験条件				最大残留量 (ppm)		
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数			
アーモンド (Nut Meat)	17	40%水和剤	0.19 lb ai/acre 茎葉散布 (計 0.57 lb ai/acre)	3回	160日	圃場D: <0.001		
		25%乳剤	0.19 lb ai/acre 茎葉散布 (計 0.57 lb ai/acre)	3回	160日	圃場E: <0.001 (#)		
		40%水和剤	0.19 lb ai/acre 茎葉散布 (計 0.57 lb ai/acre)	3回	160日	圃場F: <0.001		
		60%水和剤	0.19 lb ai/acre 茎葉散布 (計 0.57 lb ai/acre)	3回	161日	圃場G: <0.001 (#)		
		40%水和剤	0.19 lb ai/acre 茎葉散布 (計 0.57 lb ai/acre)	3回	161日	圃場H: <0.001		
			0.19 lb ai/acre 茎葉散布 (計 0.57 lb ai/acre)	3回	161日	圃場I: <0.001		
			0.19 lb ai/acre 茎葉散布 (計 0.57 lb ai/acre)	3回	161日	圃場J: <0.001		
		25%乳剤	0.19 lb ai/acre 茎葉散布 (計 0.57 lb ai/acre)	3回	161日	圃場K: <0.001 (#)		
		40%水和剤	0.2 lb ai/acre 茎葉散布 (計 1.2 lb ai/acre)	6回	90日	圃場L: 0.0035 (#)		
			0.2 lb ai/acre 茎葉散布 (計 1.2 lb ai/acre)	6回	91日	圃場M: 0.0032 (#)		
			0.2 lb ai/acre 茎葉散布 (計 1.6 lb ai/acre)	8回	90日	圃場N: 0.0035 (#)		
			0.2 lb ai/acre 茎葉散布 (計 1.6 lb ai/acre)	8回	90日	圃場O: 0.0032 (#)		
			0.2 lb ai/acre 茎葉散布 (計 1.2 lb ai/acre)	6回	90日	圃場P: 0.0049 (#)		
			0.2 lb ai/acre 茎葉散布 (計 1.2 lb ai/acre)	6回	90日	圃場Q: 0.0057 (#)		
		ホップ (乾燥花)	3	40%水和剤	1-2回目: 0.125 lb ai/acre 3-9回目: 0.25 lb ai/acre 茎葉散布 (計 2.4 lb ai/acre)	9回	14日	圃場A: 1.34 (#)
					1-2回目: 0.125 lb ai/acre 3-9回目: 0.25 lb ai/acre 茎葉散布 (計 2.0 lb ai/acre)	9回	12日	圃場B: 2.97 (#)
					1-2回目: 0.125 lb ai/acre 3-9回目: 0.25 lb ai/acre 茎葉散布 (計 2.0 lb ai/acre)	9回	14日	圃場C: 5.62 (#)
ハッカ (ミント) (可食部)	1		0.125 lb ai/acre 茎葉散布 (計 0.375 lb ai/acre)	3回	31日	圃場A: 0.16		

(注1) 残留試験 (いわゆる最大使用条件下の作物残留試験) を複数の圃場で実施し、それぞれの試験から得られた残留量。(参考:平成10年8月7日付「残留農薬基準設定における暴露評価の精密化に係る意見具申」)

表中、最大使用条件下の作物残留試験条件に、アンダーラインを付している。

(注2) (#): これらの作物残留試験は、申請の適用範囲内で試験が行われていない。なお、適用範囲内ではない試験条件を斜体で示した。

農産物名	基準値案 ppm	基準値 現行 ppm	登録 有無	参考基準値		作物残留試験成績 ppm
				国際 基準 ppm	外国 基準値 ppm	
米(玄米をいう。)		0.03				
小麦	0.3	0.3				
大麦	0.5	0.5				
ライ麦		0.03				
とうもろこし		0.03				
そば		0.03				
その他の穀類		0.03				
大豆		0.05				
小豆類 (いんげん、ささげ、サルタニ豆、サルタピア豆、バター豆、ペギア豆、ホワイト豆、ライマ豆及びレンズを含む。)		0.03				
えんどう		0.03				
そら豆		0.03				
らっかせい		0.05				
その他の豆類		0.03				
ばれいしよ		0.03				
さといも類 (やつがしらを含む。)		0.03				
かんしよ		0.03				
やまいも (長いもをいう。)		0.03				
こんにやくいも		0.02				
その他のいも類		0.03				
てんさい		0.04				
だいこん類 (ラディッシュを含む。) の根		0.03				
だいこん類 (ラディッシュを含む。) の葉		0.03				
かぶ類の根		0.03				
かぶ類の葉		0.03				
西洋わさび		0.03				
クレソン		0.03				
はくさい	1	1.0				
キャベツ		0.03				
芽キャベツ		0.03				
ケール		0.03				
こまつな		0.03				
きょうな		0.03				
チンゲンサイ	1	1.0				
カリフラワー		0.03				
ブロッコリー		0.03				
その他のあぶらな科野菜	1	1.0				
ごぼう	1	1.0				
サルシフィー	1	1.0				
アーティチョーク	1	1.0				
チコリ	1	1.0				
エンダイブ	1	1.0				
しゅんぎく	1	1.0				
レタス (サラダ菜及びちしやを含む。)	9	0.03			9.0 アメリカ	【0.20~3.95(＃) (n=7) (米国)】
その他のきく科野菜	1	1.0	○			0.48/0.46(＃) (食用菊) 0.35, 0.375 (ふき)
たまねぎ	1	1.0				
ねぎ (リーキを含む。)	1	1.0	○			
にんにく	1	1.0	○			
にら	1	1.0				
アスパラガス	1	1.0				
わけぎ	1	1.0	○			
その他のゆり科野菜	1	1.0	○			
にんじん	1	1.0				
パースニップ	1	1.0				
パセリ	9	0.03			9.0 アメリカ	【米国レタス参照】
セロリ		0.03				
みつば	1	1.0				
その他のせり科野菜	1	1.0				
トマト	1	1.0	○	0.3		
ピーマン	1	1.0	○			
なす	1	1.0	○			
その他のなす科野菜	1	1.0	○			0.22, 0.25(ししとう) 0.35, 0.40(とうがらし)
きゅうり (ガーキンを含む。)	1	1.0	○			

農産物名	基準値 案 ppm	基準値 現行 ppm	登録 有無	参考基準値		作物残留試験成績 ppm
				国際 基準 ppm	外国 基準値 ppm	
かぼちや (スカッシュを含む。)	1	1.0	○			
しろわり	1	1.0				
すいか	1	1.0	○			
メロン類果実	1	1.0	○			
まくわり	1	1.0				
その他のうり科野菜	1	1.0				
ほうれんそう	1	1.0				
たけのこ	1	1.0				
オクラ	1	1.0				
しょうが		0.03				
未成熟えんどう	1	1.0	○			
未成熟いんげん	1	1.0				
えだまめ	1	1.0				
マッシュルーム		0.02				
しいたけ		0.02				
その他のきのこ類		0.02				
その他の野菜	1	1.0	○			0.32, <0.08 (未成熟ささげ) 0.16, 0.50 (食用金魚草)
みかん		3				
なつみかんの果実全体		3				
レモン		3				
オレンジ (ネーブルオレンジを含む。)		3				
グレープフルーツ		3				
ライム		3				
その他のかんきつ類果実		3				
りんご	0.5	5.0	○	0.5		
日本なし	0.7	1.0	○	0.5		0.03 (#), 0.14 (#) / 0.08 (#), 0.34 (#) (\$)
西洋なし	0.7	1.0	○	0.5		【日本なし参照】
マルメロ	0.5	1.0		0.5		
びわ	1	1.0		0.5		
もも	1	1.0	○	2		
ネクタリン	2	1.0		2		
あんず (アプリコットを含む。)	2	1.0		2		
すもも (ブルーーンを含む。)	0.2	1.0		0.2		
うめ	2	1.0		2		
おうとう (チェリーを含む。)	2	4.0	○	2		
いちご	1	1.0	○	1		
ラズベリー	1	1.0				
ブラックベリー	1	1.0				
ブルーベリー	1	1.0				
クランベリー	1	1.0				
ハックルベリー	1	1.0				
その他のベリー類果実	0.5	1.0		0.5		
ぶどう	1	1.0		1		
かき	1	1.0	○			
バナナ	2	2.0		2		
キウイ	1	1.0				
パパイヤ	1	1.0				
アボカド	1	1.0				
パイナップル	1	1.0				
グアバ	1	1.0				
マンゴー	1	1.0				
パッションフルーツ	1	1.0				
なつめやし	1	1.0				
その他の果実	1	1.0	○			
ひまわりの種子		0.05				
ごまの種子		0.05				
べにばなの種子		0.05				
綿実	0.02	0.04			0.02: アメリカ	【<0.01 (#) (n=1) (米国)】
なたね		0.05				
その他のオイルシード		0.05				

(別紙3)

マイクロブタニル推定摂取量 (単位: $\mu\text{g}/\text{人}/\text{day}$)

食品群	基準値案 (ppm)	国民平均 TMDI	幼小児 (1~6歳) TMDI	妊婦 TMDI	高齢者 (65歳以上) TMDI
小麦	0.3	35.0	24.7	37.0	25.0
大麦	0.5	3.0	0.1	0.2	1.8
はくさい	1	29.4	10.3	21.9	31.7
チンゲンサイ	1	1.4	0.3	1.0	1.9
その他のあぶらな科野菜	1	2.1	0.3	0.2	3.1
ごぼう	1	4.5	1.6	2.4	5.2
サルシフィー	1	0.1	0.1	0.1	0.1
アーティチョーク	1	0.1	0.1	0.1	0.1
チョコリ	1	0.1	0.1	0.1	0.1
エンダイブ	1	0.1	0.1	0.1	0.1
しゅんぎく	1	2.5	0.6	1.9	3.7
レタス(サラダ菜及びちしやを含む。)	9	54.9	22.5	57.6	37.8
その他のさく科野菜	1	0.4	0.1	0.5	0.7
たまねぎ	1	30.3	18.5	33.1	22.6
ねぎ(リーキを含む。)	1	11.3	4.5	8.2	13.5
にんにく	1	0.3	0.1	0.1	0.3
にら	1	1.6	0.7	0.7	1.6
アスパラガス	1	0.9	0.3	0.4	0.7
わけぎ	1	0.2	0.1	0.1	0.3
その他のゆり科野菜	1	0.9	0.1	0.1	1.8
にんじん	1	24.6	16.3	25.1	22.3
パースニップ	1	0.1	0.1	0.1	0.1
パセリ	9	0.9	0.9	0.9	0.9
みつば	1	0.2	0.1	0.1	0.2
その他のせり科野菜	1	0.1	0.1	0.1	0.3
トマト	1	24.3	16.9	24.5	18.9
ピーマン	1	4.4	2.0	1.9	3.7
なす	1	4.0	0.9	3.3	5.7
その他のなす科野菜	1	0.2	0.1	0.1	0.3
きゅうり(ガーキンを含む。)	1	16.3	8.2	10.1	16.6
かぼちや(スカッシュを含む。)	1	9.4	5.8	6.9	11.5
しろうり	1	0.3	0.1	0.1	0.8
すいか	1	0.1	0.1	0.1	0.1
メロン類果実	1	0.4	0.3	0.10	0.3
まくわうり	1	0.1	0.1	0.1	0.1
その他のうり科野菜	1	0.5	0.1	2.3	0.7
ほうれんそう	1	18.7	10.1	17.4	21.7
たけのこ	1	2.0	0.7	2.6	1.7
オクラ	1	0.3	0.2	0.2	0.3
未成熟えんどう	1	0.6	0.2	0.7	0.6
未成熟いんげん	1	1.9	1.2	1.8	1.8
えだまめ	1	0.1	0.1	0.1	0.1
その他の野菜	1	12.6	9.7	9.6	12.2
りんご	0.5	17.7	18.1	15.0	17.8
日本なし	0.7	3.6	3.1	3.7	3.6
西洋なし	0.7	0.07	0.07	0.07	0.07
マルメロ	0.5	0.1	0.1	0.1	0.1
びわ	1	0.1	0.1	0.1	0.1
もも	1	0.5	0.7	4.0	0.1
ネクタリン	2	0.2	0.2	0.2	0.2
アズキ(アプリコットを含む。)	2	0.2	0.2	0.2	0.2
すもも(プルーンを含む。)	0.2	0.0	0.0	0.3	0.0
うめ	2	2.2	0.6	2.8	3.2
おうとう(チェリーを含む。)	2	0.2	0.2	0.2	0.2
いちご	1	0.3	0.4	0.1	0.1
ラズベリー	1	0.1	0.1	0.1	0.1
ブラックベリー	1	0.1	0.1	0.1	0.1

ブルーベリー	1	0.1	0.1	0.1	0.1
クランベリー	1	0.1	0.1	0.1	0.1
ハuckleベリー	1	0.1	0.1	0.1	0.1
その他のベリー類果実	0.5	0.1	0.1	0.1	0.1
ぶどう	1	5.8	4.4	1.6	3.8
かき	1	31.4	8.0	21.5	49.6
バナナ	2	25.2	22.6	17.4	35.4
キウイ	1	1.8	1.3	1.1	2.0
パイナップル	1	0.1	0.1	0.1	0.1
アボカド	1	0.2	0.1	0.1	0.2
パイナップル	1	0.8	1.0	0.1	0.5
グアバ	1	0.1	0.1	0.1	0.1
マンゴー	1	0.1	0.1	0.1	0.1
パッションフルーツ	1	0.1	0.1	0.1	0.1
なつめやし	1	0.1	0.1	0.1	0.1
その他の果実	1	3.9	5.9	1.4	1.7
綿実	0.02	0.0	0.0	0.0	0.0
アーモンド	0.02	0.0	0.0	0.0	0.0
茶	20	60.0	28.0	70.0	86.0
ホップ	10	1.0	1.0	1.0	1.0
その他のハーブ	1	0.1	0.1	0.1	0.1
陸棲哺乳類の肉類	0.4	23.0	13.2	24.2	23.0
陸棲哺乳類の乳類	0.09	12.8	17.7	16.5	12.8
家禽の肉類	0.01	0.2	0.2	0.2	0.2
家禽の卵類	0.01	0.4	0.3	0.4	0.4
計		494.0	288.0	457.3	516.5
ADI比 (%)		38.6	75.9	34.3	39.7

高齢者については畜産物、妊婦については家禽の卵類の摂取量データがないため、国民平均の摂取量を参考とした。

TMDI：理論最大1日摂取量 (Theoretical Maximum Daily Intake)

(参考)

これまでの経緯

平成 2年 11月 7日	初回農薬登録
平成17年 11月 29日	残留農薬基準告示
平成20年 3月 25日	厚生労働大臣より残留基準設定に係る食品健康影響評価について要請(厚生労働省発食安第0325016号)
平成21年 5月 21日	食品安全委員会委員長から厚生労働大臣あてに食品健康影響評価について通知
平成22年 12月 17日	薬事・食品衛生審議会への諮問
平成22年 12月 24日	薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会農薬・動物用医薬品部会

● 薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会農薬・動物用医薬品部会
[委員]

青木 宙	東京海洋大学大学院海洋科学技術研究科教授
生方 公子	北里大学北里生命科学研究科病原微生物分子疫学研究室教授
○大野 泰雄	国立医薬品食品衛生研究所副所長
尾崎 博	東京大学大学院農学生命科学研究科教授
加藤 保博	財団法人残留農薬研究所理事
斉藤 貢一	星薬科大学薬品分析化学教室准教授
佐々木 久美子	元国立医薬品食品衛生研究所食品部第一室長
佐藤 清	財団法人残留農薬研究所理事・化学部長
志賀 正和	元農業技術研究機構中央農業総合研究センター虫害防除部長
豊田 正武	実践女子大学生生活科学部食生活科学科教授
永山 敏廣	東京都健康安全研究センター医薬品部長
松田 りえ子	国立医薬品食品衛生研究所食品部長
山内 明子	日本生活協同組合連合会執行役員組織推進本部長
山添 康	東北大学大学院薬学研究科医療薬学講座薬物動態学分野教授
吉池 信男	青森県立保健大学健康科学部栄養学科教授
由田 克士	大阪市立大学大学院生活科学研究科教授
鰐淵 英機	大阪市立大学大学院医学研究科都市環境病理学教授

(○: 部会長)

答申 (案)

マイクロブタニル

食品名	残留基準値
	ppm
小麦	0.3
大麦	0.5
はくさい	1
チンゲンサイ	1
その他のあぶらな科野菜 ^{注1)}	1
ごぼう	1
サルシフィー	1
アーティチョーク	1
チコリ	1
エンダイブ	1
しゆんぎく	1
レタス (サラダ菜及びちしやを含む。)	9
その他のきく科野菜 ^{注2)}	1
たまねぎ	1
ねぎ (リーキを含む。)	1
にんにく	1
にら	1
アスパラガス	1
わけぎ	1
その他のゆり科野菜 ^{注3)}	1
にんじん	1
パースニップ	1
パセリ	9
みつば	1
その他のせり科野菜	1
トマト	1
ピーマン	1
なす	1
その他のなす科野菜 ^{注4)}	1
きゅうり (ガーキンを含む。)	1
かぼちや (スカッシュを含む。)	1
しろうり	1
すいか	1
メロン類果実	1
まくわうり	1
その他のうり科野菜 ^{注5)}	1
ほうれんそう	1
たけのこ	1
オクラ	1
未成熟えんどう	1
未成熟いんげん	1
えだまめ	1
その他の野菜 ^{注6)}	1
りんご	0.5
日本なし	0.7
西洋なし	0.7
マルメロ	0.5
びわ	1
もも	1
ネクタリン	2
あんず (アプリコットを含む。)	2
すもも (ブルーンを含む。)	0.2
うめ	2
おうとう (チェリーを含む。)	2
いちご	1
ラズベリー	1
ブラックベリー	1

注1) 「その他のあぶらな科野菜」とは、あぶらな科野菜のうち、だいこん類の根、だいこん類の葉、かぶ類の根、かぶ類の葉、西洋わさび、クレソン、はくさい、キャベツ、芽キャベツ、ケール、こまつな、きょうな、チンゲンサイ、カリフラワー、ブロッコリー及びハーブ以外のものをいう。

注2) 「その他のきく科野菜」とは、きく科野菜のうち、ごぼう、サルシフィー、アーティチョーク、チコリ、エンダイブ、しゆんぎく、レタス及びハーブ以外のものをいう。

注3) 「その他のゆり科野菜」とは、ゆり科野菜のうち、たまねぎ、ねぎ、にんにく、にら、アスパラガス、わけぎ及びハーブ以外のものをいう。

注4) 「その他のなす科野菜」とは、なす科野菜のうち、トマト、ピーマン及びなす以外のものをいう。

注5) 「その他のうり科野菜」とは、うり科野菜のうち、きゅうり、かぼちや、しろうり、すいか、メロン類果実及びまくわうり以外のものをいう。

注6) 「その他の野菜」とは、野菜のうち、いも類、てんさい、さとうきび、あぶらな科野菜、きく科野菜、ゆり科野菜、せり科野菜、なす科野菜、うり科野菜、ほうれんそう、たけのこ、オクラ、しょうが、未成熟えんどう、未成熟いんげん、えだまめ、きのこ類、スパイス及びハーブ以外のものをいう。

食品名	残留基準値
	ppm
ブルーベリー	1
クランベリー	1
ハックルベリー	1
その他のベリー類果実 ^{注7)}	0.5
ぶどう	1
かき	1
バナナ	2
キウイ	1
パパイヤ	1
アボカド	1
パイナップル	1
グアバ	1
マンゴー	1
パッションフルーツ	1
なつめやし	1
その他の果実 ^{注8)}	1
綿実	0.02
アーモンド	0.02
茶	20
ホップ	10
その他のハーブ ^{注9)}	1
牛の筋肉	0.03
豚の筋肉	0.03
その他の陸棲哺乳類に属する動物 ^{注10)} の筋肉	0.03
牛の脂肪	0.02
豚の脂肪	0.02
その他の陸棲哺乳類に属する動物の脂肪	0.02
牛の肝臓	0.4
豚の肝臓	0.4
その他の陸棲哺乳類に属する動物の肝臓	0.4
牛の腎臓	0.07
豚の腎臓	0.07
その他の陸棲哺乳類に属する動物の腎臓	0.07
牛の食用部分 ^{注11)}	0.4
豚の食用部分	0.4
その他の陸棲哺乳類に属する動物の食用部分	0.4
乳	0.09
鶏の筋肉	0.01
その他の家きん ^{注12)} の筋肉	0.01
鶏の脂肪	0.01
その他の家きんの脂肪	0.01
鶏の肝臓	0.01
その他の家きんの肝臓	0.01
鶏の腎臓	0.01
その他の家きんの腎臓	0.01
鶏の食用部分	0.01
その他の家きんの食用部分	0.01
鶏の卵	0.01
その他の家きんの卵	0.01

注7) 「その他のベリー類果実」とは、ベリー類果実のうち、いちご、ラズベリー、ブラックベリー、ブルーベリー、クランベリー及びハックルベリー以外のものをいう。

注8) 「その他の果実」とは、果実のうち、かんきつ類果実、りんご、日本なし、西洋なし、マルメロ、びわ、もも、ネクタリン、あんず、すもも、うめ、おうとう、ベリー類果実、ぶどう、かき、バナナ、キウイ、パパイヤ、アボカド、パイナップル、グアバ、マンゴー、パッションフルーツ、なつめやし及びスパイス以外のものをいう。

注9) 「その他のハーブ」とは、ハーブのうち、クレソン、にら、パセリの茎、パセリの葉、セロリの茎及びセロリの葉以外のものをいう。

注10) 「その他の陸棲哺乳類に属する動物」とは、陸棲哺乳類に属する動物のうち、牛及び豚以外のものをいう。

注11) 「食用部分」とは、食用に供される部分のうち、筋肉、脂肪、肝臓及び腎臓以外の部分をいう。

注12) 「その他の家きん」とは、家きんのうち、鶏以外のものをいう。

